

前期認証式にあたり

みなさんの役職就任にあたり、あなたたちが自分たちの手で学校を創っていく「自治」という活動についてお話しします。

自治活動を一言で言うなら、それは入学式や始業式でも話したパズルでいうと『自分たちで坂井中パズルの絵を決める』ということです。

決して、誰かが（先生たちが）用意した完成図をただなぞる「作業」ではありません。

「今年はどんな学校にしたいか」

「今、みんなが困っていることはないか」

「行事をもっと盛り上げていきたい」とか

自分たちで相談し、納得するまで話し合い、自分たちの手でピースを動かしていく。

その「自分たちで決めて、やってみる」というワクワクするプロセスそのものが、自治活動なのです。

もし、誰かが「自分は委員会に所属してないから」、「自分なんて関係ない」と考えるのはやめましょう。ピースを置くのをやめてしまったら、そこには埋まらない空白ができてしまいます。一人ひとりが「このパズルは自分のパズルだ」と思って一歩踏み出すことが、学校全体の景色を鮮やかに変えていくのです。

その中で、生徒会執行部と執行委員会の皆さんは、二つの大切な役割を担っています。一つは、みんなが安心してピースを置ける「大きなテーブル」になることです。

みんなの意見がこぼれ落ちないように受け止め、活動の土台をどっしりと支える。誰もが参加できる公平な場所をつくる役割です。

もう一つは、パズルを完成を導く「羅針盤（らしんばん）」になることです。

「自分たちは、こんな景色を目指そう！」と理想を掲げ、みんなが進むべき方向を指し示す。みんなの熱意を一つの未来へと導く先導役であってほしいと願っています。

パズルを組んでいる最中は、意見がぶつかることもあるでしょう。しかし、それでいいのです。自分たちで悩んで、苦労して組み上げた景色は、最初から用意されていた絵よりも、皆さんの心に深く刻まれるものになるはずです。

誰一人欠けることのない、世界に一枚だけの素晴らしい坂中のパズルが完成していくことを、楽しみにしています。

それでは半年間よろしく申し上げます。